

2018年3月1日

第105号

発行：日本臨床検査技師連盟
 発行責任者：相山 広美
 編集担当者：中井 規隆

日本臨床検査技師連盟ニュース

◆◆連盟ニュース◆◆

今号の主な内容

- ◇ 執行委員会開催
- ◇ 会費の値上げについて
- ◇ 支部報告

第1回日本臨床検査技師連盟執行委員会開催

連盟会費 1口3,000円以上への変更が承認される。

平成30年2月3日(土)日臨技会館において、第1回日本臨床検査技師連盟執行委員会を開催し、はじめに宮島喜文会長(参議院議員)の挨拶をいただき、執行委員を含む57名中、委任状も含め54名が出席し、出席者過半数を超えていることから、本委員会の成立を宣言した。議長は連盟の代表が当たることになっており、相山連盟代表から、開会の挨拶と議事進行への協力依頼を行い、議案審議に入った。



◇ **第一号議案 平成29年連盟決算報告について**
 平成29年の監査報告の提出並びに監事から監査報告がなされ、賛成多数により承認された。

◇ **第二号議案 会費の値上げ(案)について**
 会費を平成30年1月1日から現行の1口1,000円から1口3,000円の引き上げることとする。ただし、口座引き落としの会員は、事務手続き上平成31年1月1日から適用したいと提案がなされた。

執行委員から年途中の引き上げでは、会費と2種類になることが矛盾する等の発言があり、再度の採決をすることとした。

平成30年は1口1000円以上で進め、平成31年1月1日から1口3,000円にすることを賛成多数で承認された。

◇ **第三号議案 連盟入会方法の見直し(案)について**

現行の入会方法に変え、日臨技HPから入っていく方法で進めることで、特に意見はなく賛成多数で承認された。このことに係る費用面などを含め検討していくこととした。

◇ **第四号議案 平成30年連盟事業活動方針(案)について**

資料の説明を行い、賛成多数で承認した。

◇ **第五号議案 平成30年連盟予算(案)について**

会費引き上げが修正されたことから、予算についても、修正しメール審議とすることを賛成多数で承認した。

◇ **第六号議案 日本臨床検査技師連盟規約改正(案)について**

会費引き上げが修正されたことから、メール審議とすることを賛成多数で承認した。



過日、第五号議案並びに第六号議案についてメール審議が実施され、賛成多数で承認された。

事務連絡

平成29年日本臨床検査技師連盟の収支報告書を去る2月26日に 東京都選挙管理委員会へ提出し受理されました。

会費値上げについて

平素は日本臨床検査技師連盟の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当連盟は、平成10年に発足し、臨床検査の発展並びに臨床検査技師制度の向上のため、国会議員等に対する渉外活動を実施してきました。

その渉外活動の更なる基盤強化を図るため、平成28年の参議院議員選挙に日臨技宮島喜文会長を擁立し、見事に当選を果し、念願であった臨床検査技師から国会議員を輩出し、平成28年末には、臨床検査関係の「自由民主党臨床検査に関する制度推進議員連盟」が改組発足に繋がられました。

これら政治力を使い昨年の通常国会において、臨床検査業界「医療法等の一部を改正する法律案」が衆議院・参議院本会議において全会一致で可決成立し、医療法に「検体検査」が明記され、病院等における検体検査に精度管理が創設されました。

皆様もご承知のとおり、連盟の会員になるためには、1口1,000円以上の会費を納めることになります。連盟はこの会費収入で運営していますが、従来にまして渉外活動を活発化し、安定的な連盟運営を行うためには、1口1,000円では、資金不足が生じ、近年、赤字収支で繰越金により賸っている状況であります。

そうしたことから、平成30年2月3日（土）連盟執行委員会において、平成31年1月1日から現行の1口1,000円から1口3,000円以上への引き上げが承認されました。会員の皆様には、本趣旨をご理解いただき、今後一層のご理解とご協力を賜りますよう引き続きよろしくお願いいたします。

2018.3.1 日本臨床検査技師連盟 代表 梶山 広美

日本臨床検査技師会支部学会において連盟紹介コーナーを設置し
入会促進の説明・相談を行っております。各支部からの報告を掲載します。

第2回大臨技医学検査学会 臨床検査の将来に興味を



平成30年2月12日（祝）に開催された第2回大臨技医学検査学会の機器展示会場の端に日本臨床検査連盟のブースを構えました。

メインホールの出入り口の前に位置しロケーションもよく多くの方が興味を持って目を向けていただけました。が、ブースには入会案内書、宮島会長の活動のチラシだけでもっと興味を湧くような情報やツールを設置する必要性を感じました。そのため、連盟の会員として登録していただけた方は病院施設の中堅の方、試薬メーカーの方、大阪府下の教育機関の教員の方で、臨床検査の将来に興味を持っていただかなければならない若手の方の登録は少なく14名の登録に止まりました。

大阪府支部 高田 厚照

第38回和歌山県医学検査学会 多数の賛同得る

平成30年2月25日（日）和歌山県立情報交流センターにおいて開催された第38回和歌山県医学検査学会において連盟ブースを設置して加入促進広報を行った。

将来の臨床検査技師の地位や業務拡大のためには政治的な動きと連動した技師組織の努力が必要であることを説明し41名50口の加入を得た。

手ぬぐいを染めて手書きしたオリジナルの和歌山県支部のぼりをたて、休憩時には宮島議員の厚生労働委員会での審議の映像をながしました。立ち止まって見てくれる人こそありませんでしたが、目立ったのは確かです。学会で連盟ブースを設置することは事前に伝えていたので、学会受付を済ませて「預かってきました。」とまっすぐ加入受付に来られる方もありました。なかには、2口3口も。施設で声をかけて集めてくれた人あり、預かってきてくれた人ありで、その施設は今後も応援をいただけるものと思います。

「連盟から大切なお知らせです」として、財政を安定させて、しっかり活動していくために、

「来年から1口3000円になります」というお知らせも、思い切って配布しました。

和歌山県支部 脇村 小津江

